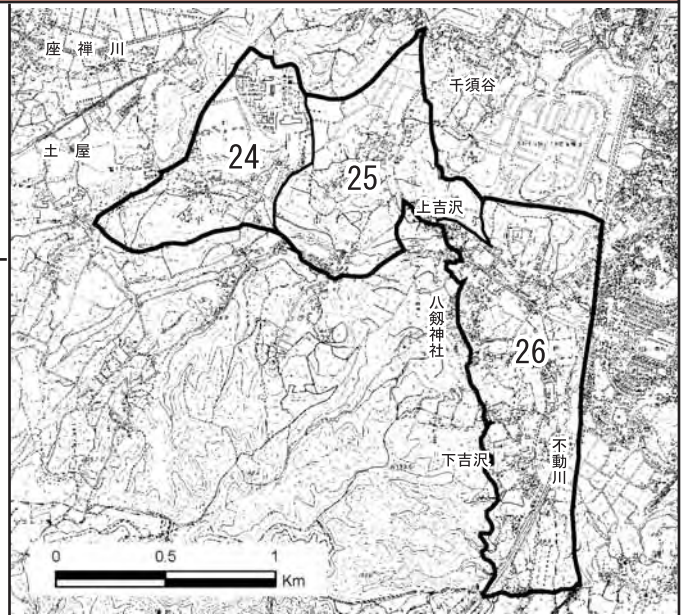


大地区Ⅵ 不動川中流

【評価】

	自然	場	緑の質	生物
総合	C	E	C	C
B	人とのかわり	景観	ふれあい	人文
	B	B	C	B

【地区位置】





	内 容
総合評価	農地、樹林、古い集落の住宅地、新しい住宅地などが近接した自然と景観がみられる。人とのふれあいの場となっており、人文資源も多い。里山らしさが比較的よく残されている。
自然評価 総評	畑地と住宅地が主体であるが、二次林が点在し、不動川が流下していることから、樹林、草地、水辺の指標種が生息、生育している。
人との かわり 評価総評	農地、樹林、古い集落の住宅地、新しい住宅地などが近接した里山の景観が残されている。複数の散策路が通過し、一部で自然観察場所としての利用がなされ、人とのふれあいの場となっている。 道祖神、保全樹、指定文化財、社寺などの人文資源が多い。

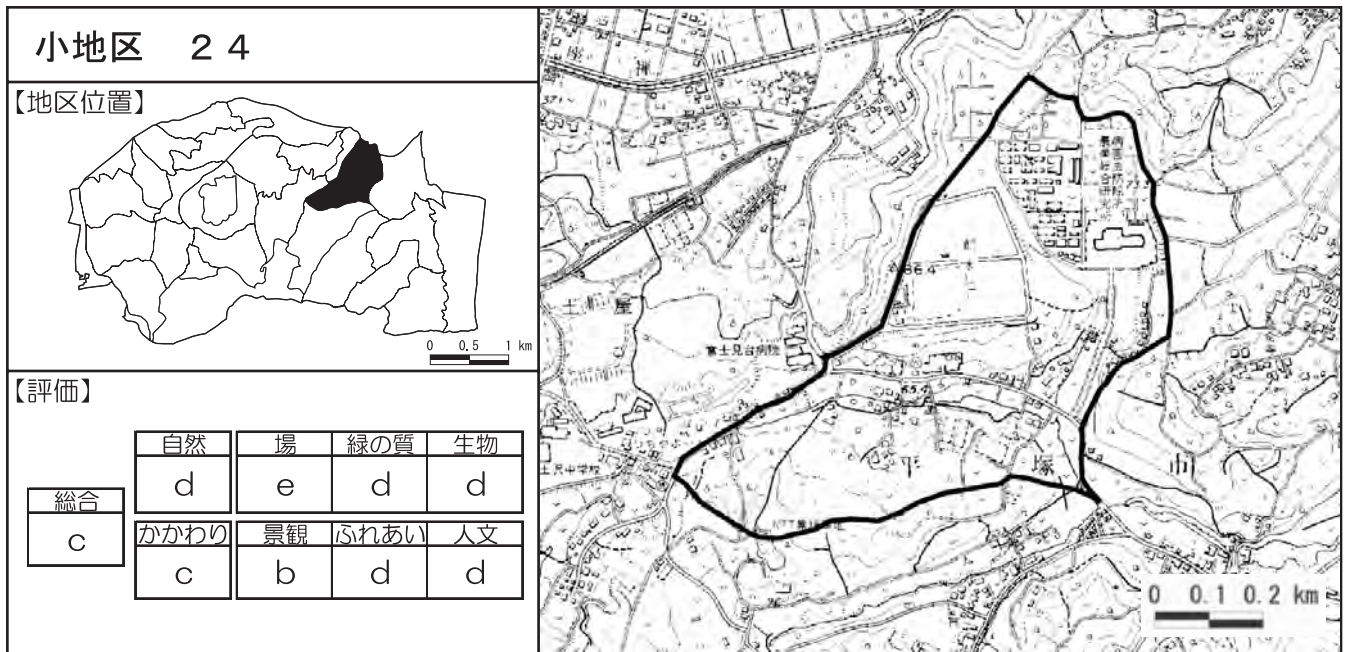


湘南ひらつかやすらぎ回廊 2005年10月6日撮影

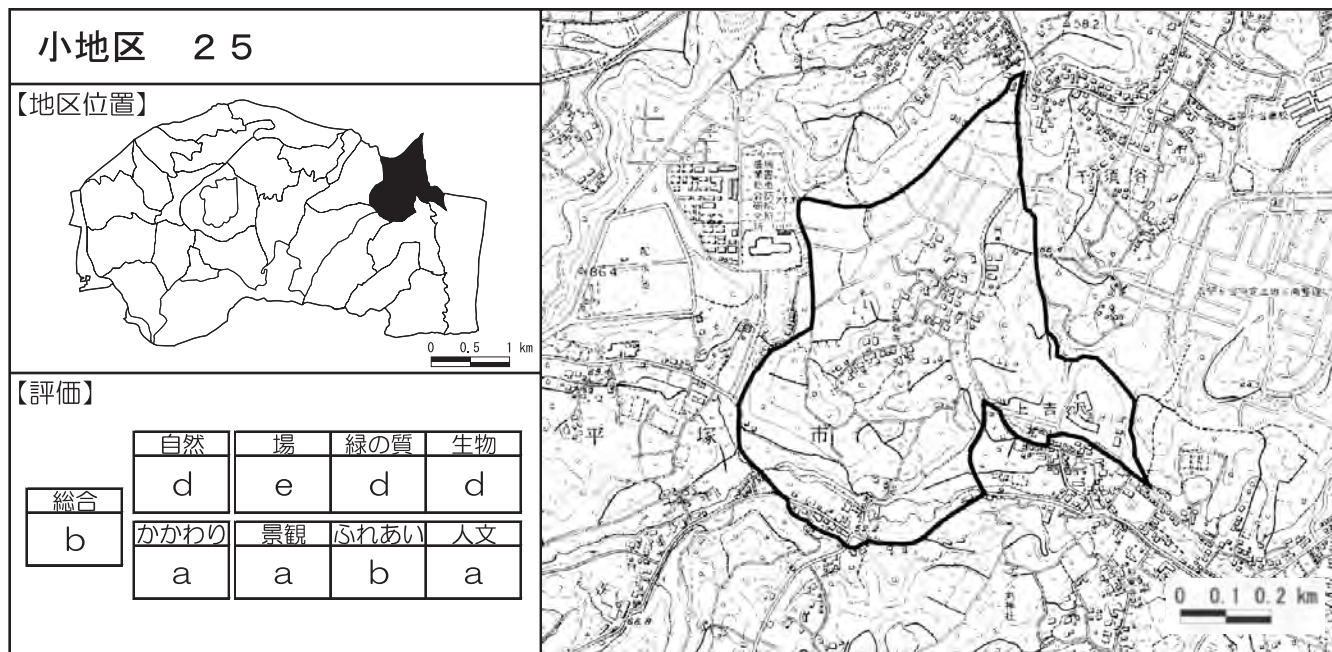


八剣神社（下吉沢） 2005年7月21日撮影

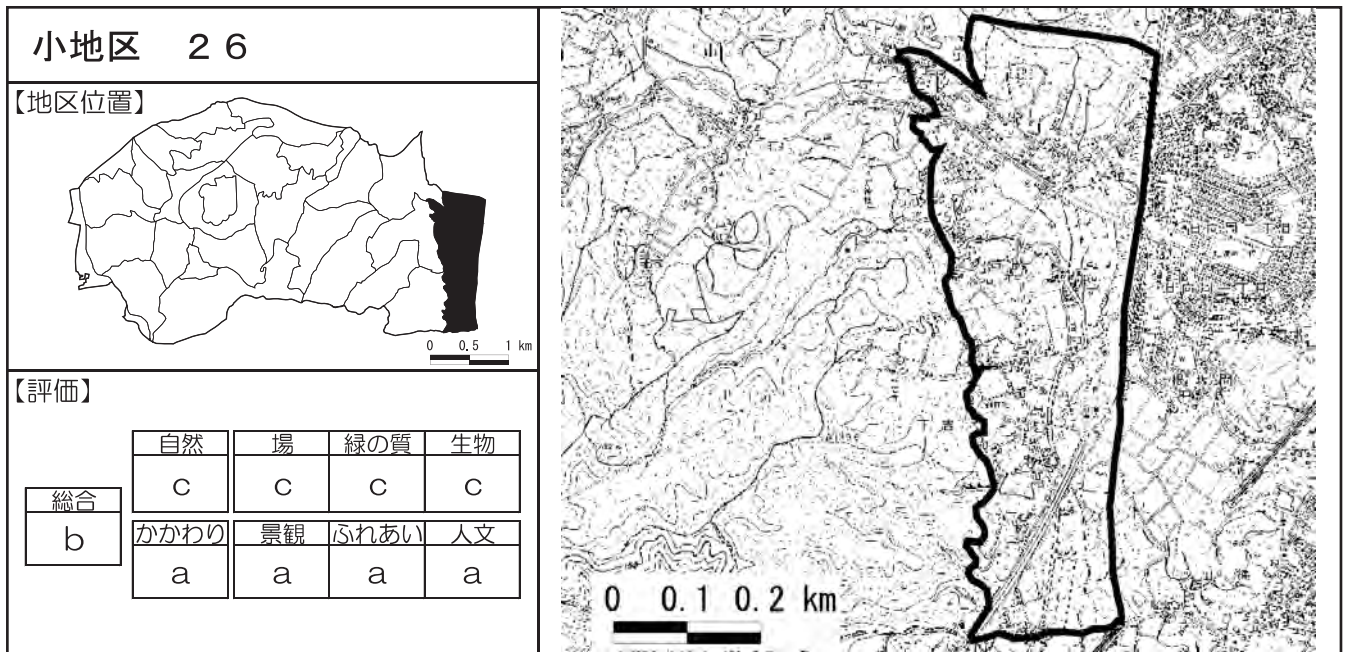
	内 容
景 観	<p>里山景観要素の割合が82.6%と高く、里山の景観がよく残されている。畑地が53.8%と多く、その他、樹林13.3%、古い集落の住宅地13.4%、新しい住宅地など11.6%などがみられる。</p> <p>地区の26.7%が地域外の都市景観が視界に入らない領域である。</p>
ふれあい	<p>【散策路】『湘南ひらつかやすらぎ回廊』 (「川と緑のそよかぜロード」、「近未来へのこもれびロード」、 「緑と文化の湘南丘陵の道」、「花といにしえの田園散歩道」)</p> <p>【展望地点】なし 【自然体験フィールド】なし 【自然観察場所】 下吉沢の八剣神社周辺や、県道63号線から松岩寺や吉沢の池へ向かう道の周辺が利用されている。 【自然とのふれあい施設】なし</p>
人 文	<p>【道祖神】 小地区24の中心部を東西に通る道沿い、延命寺周辺、小地区26の集落の周辺に計14箇所ある。</p> <p>【水神】なし 【史跡】なし 【保全樹】田代稻荷のそろ(シデ類)、神奈川県農業総合研究所のひさかき 【指定文化財】 延命寺の平塚市指定有形文化財(彫刻:木造 地藏菩薩半跏像) 下吉沢の八剣神社の国指定有形重要文化財(彫刻:木造不動明王立像くかんまん不動)> 妙覚寺の神奈川県指定有形文化財(建造物:四脚門) 【社寺】延命寺、三狐(さんこ)神社、妙覚寺、八剣神社 【湧水】なし 【滝】なし</p>
	
妙覚寺(四脚門) 2005年7月21日撮影	道祖神 2005年7月21日撮影



	内 容
総合評価	農地と住宅地を主体とする自然と景観がみられる。人とのふれあいの場としての利用は少なく、人文資源も少ない。里山らしさがある程度残されている。
自然評価 総 評	農地と住宅地が主体である。農地に囲まれて二次林が点在しており、樹林、草地の指標種が生息、生育している。
人との かかわり 評価総評	農業総合研究所と配水池の敷地では、建築物やオープンスペースが広がっており、敷地外では、農地と樹林を主体とする里山の景観が比較的好く残されている。 散策路があるが、人とのふれあいの場としての利用は少ない。 道祖神、保全樹などの人文資源がある。
景 観	農業総合研究所と配水池の敷地が含まれるため、里山景観要素の割合は66.2%とやや低い。畑地が31.5%、樹林が24.2%と多いが、研究所の建築物を主とする住宅地など17.4%、人工草地14.6%などもみられる。 地区の56.1%が地域外の都市景観が視界に入らない領域である。
ふれあい	地区北西側に沿って富士見台病院から配水池を通り、地区東側に至る道が『湘南ひらつかやすらぎ回廊』の「近未来へのこもれびロード」、「花といにしえの田園散歩道」に選定されている。
人 文	道祖神は、地区の中心部を東西に通る道沿いに1箇所ある。 保全樹は、田代稻荷のそろ（シデ類）、神奈川県農業総合研究所のひさかきがある。



内 容	
総合評価	畑地と集落が近接した自然と景観がみられる。主要な人とのふれあいの場となっており、人文資源も豊富である。里山らしさが比較的よく残されている。
自然評価 総 評	農地と住宅地が主体である。農地に囲まれて二次林が点在しており、樹林、草地の指標種が生息、生育している。
人との かわり 評価総評	畑地と集落が近接した里山の景観がよく残されている。 散策路が複数あり、主要な人とのふれあいの場となっている。 多くの道祖神、市指定の有形文化財、延命寺、三狐神社など人文資源が豊富である。
景 観	里山景観要素の割合が 87.0%と高く、里山の景観がよく残されている。畑地が 59.0%と多く、その他、畑地にとり囲まれるように分布する樹林 18.5%や住宅地など 10.3%がみられる。 地区の 36.1%が、地域外の都市景観が視界に入らない領域である。
ふれあい	地区南側の不動川沿いの道は、『湘南ひらつかやすらぎ回廊』の「川と緑のそよかぜロード」、延命寺の北側を東西に横断する道は、「近未来へのこもれびロード」に選定されている。また、地区東側は、「緑と文化の湘南丘陵の道」、北側は、「花といにしへの田園散歩道」に選定されている。
人 文	道祖神は延命寺周辺の集落に多く、6箇所点に点在している。 指定文化財は、延命寺にある平塚市指定の有形文化財（彫刻：木造 地藏菩薩半跏像）がある。 社寺は、天台宗の延命寺と、お稲荷さまで「おしゃもつつあん」とも呼ばれている三狐（さんこ）神社がある。



内 容	
総合評価	畑地を主体とする自然と景観がみられる。主要な人とのふれあいの場となっており、人文資源も豊富である。里山らしさが比較的良好に残されている。
自然評価	畑地が主体であるが、鷹取山山麓の中核となる緑と住宅街との緩衝帯となっている。不動川が流下し、護岸されていない区間も残されていることから、おもに水辺の指標種が生息、生育している。
人のかかわり	畑地を主体とする里山の景観がよく残されている。 鷹取山や史跡へと続く散策路が複数通過し、地区の一部で自然観察場所としての利用もなされ、主要な人とのふれあいの場となっている。 多くの道祖神、国や県指定の有形文化財、妙覚寺、八剣神社など人文資源が豊富である。
景観	里山景観要素の割合が 88.2%と高く、里山の景観がよく残されている。畑地が 62.1%と多く、古くからの集落の住宅地 21.3%もみられる。 地区の 5.7%が、地域外の都市景観が視界に入らない領域である。
ふれあい	地区東側中央部から地区北西にある吉沢小学校への道が、『湘南ひらつかやすらぎ回廊』の「近未来へのこもれびロード」、地区南東から北西は「川と緑のそよかぜロード」、地区西側の松岩寺からバス通りへの道は、「緑と文化の湘南丘陵の道」に選定されている。 自然観察場所は、下吉沢の八剣神社周辺や、県道 63 号線から松岩寺や吉沢の池へ向かう道の周辺が利用されている。
人文	道祖神は、集落の周辺に 7箇所点在している。 指定文化財は、八剣神社に国指定の有形重要文化財（彫刻：木造不動明王立像〈かんまん不動〉）、妙覚寺に神奈川県指定の有形文化財（建造物：四脚門）がある。 社寺は、比叡山延暦寺の末寺である天台宗の妙覚寺、下吉沢地区の鎮守である八剣神社があり、上吉沢地区と同様、八坂神社が合祀されている。

ひらつかの昔ばなし

■道祖神とひとつ目小僧

土屋では、12月8日にひとつ目小僧が各家をまわり、汚くしている家に病気を持ってこようと帳面につけ、その帳面を道祖神に預けていくそうです。ところが、道祖神はその帳面を1月14日のどんと焼きで、焼いてしまいました。ひとつ目小僧が2月8日に帳面をとりに来ましたが、道祖神は「おまえの帳面を焼いてしまった。申し訳ないから、私は一生家に入らない」といいました。それで、道祖神は野ざらしになっているのだそうです。



■和尚さんと小僧

むかしむかし、寺分の正蔵院は、今のような無住寺ではなく、大きな本堂を持った立派なお寺でした。正蔵院には、和尚さんと三人の小坊主がいました。

和尚さんはなかなかのけちんぼうでした。小坊主どもがいくら一生懸命に働いても、自分ばかりうまいものを食って、ちっとも小坊主どもには分けてくれませんでした。

ある日のこと、檀家から本尊さんにたくさんのお餅が上げられました。小坊主どもはそれを見て、あの餅は和尚さんばかりに食わせないで、自分たちも食ってやろうと三人で相談をして、和尚さんの前へ三人そろって出ました。

「珍しく三人そろって何のようだな。」

「和尚さん、三人名前を変えることにしました。」

「ばかに急な話だが、それで名は何とした。」

「今日から、プウプウとパタパタとウマウマに名前を変えます。

どうか和尚さんもそう呼んでください。」

「おかしな名前だが、まあよかろう。」

和尚さんは半ば呆れ顔して、小坊主どもの改名を承知しました。

晩方になりました。和尚さんは餅が食いたくなかったので、小坊主どもを、寝部屋に追い立てました。隣の寝部屋に引っ込んだ小坊主どもは、寝たふりをして耳を澄ませていました。やがて和尚さんは戸棚から餅を出して、こっそり焼き始めました。そのうちに、餅を焼く香ばしい匂いが、小坊主どもの鼻に届いてきました。

すると食い頃になったらしく和尚さんは灰の中から餅をとりだして、パタパタと灰をはたき落とし、プウプウと熱い餅を吹くと、頬張ってウマウマとうまそうに食いはじめましたので、待ってましたとばかり小坊主どもは三人揃って、

「ハイ」「ハイ」「ハイ」と返事よく、和尚さんの部屋にかけこみました。そして「和尚さん、御用ですか。」と聞きました。あんまりだしぬけのことで、和尚さんは焼いた餅を隠す間もなかったものだから、小坊主どもにも、たらふく餅を食わせてくれました。

